

3月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和6年3月末現在〕

令和6年4月12日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」、「売上高」は悪化し、「収益状況」は不変であった。

業種別でみると、「景況」は、製造業では不変であったが、非製造業では悪化した。「売上高」は、製造業、非製造業ともに悪化した。「収益状況」は、製造業、非製造業ともに不変であった。

引き続き、エネルギーや原材料等の価格高騰が続き苦慮している報告や人手不足に係る報告があった。一方で、コスト上昇分を価格に転嫁し、売上高が増加したとの報告もあった。

景況DI

製造業は、前月比変化なしの▲30.8ポイント、非製造業は、前月比13.1ポイント悪化の▲34.8ポイント、全体では、前月比6.2ポイント悪化の▲32.7ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比3.8ポイント悪化の▲26.9ポイント、非製造業は、前月比17.3ポイント悪化の▲4.3ポイント、全体では、前月比10.2ポイント悪化の▲16.3ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比変化なしの▲30.8ポイント、非製造業は、前月比変化なしの▲17.4ポイント、全体では、前月比変化なしの▲24.5ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	学校給食パン	令和6年度の基本加工賃が決定した。前年度比4.76%の上昇である。 毎年度数%の上昇はあるものの、実情の人件費、原材料の価格には見合っており、今年度も苦しい経営が予想される。
	清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県2月の清酒課税移出数量は、前年同月比113.7%であり、本格焼酎についても、同100.2%であった。 主力の清酒課税移出数量の前年同月比プラスは1年振りとなる。しかし、その中には蔵元から保管倉庫へ移動したものが多く、それが2月の課税移出数量の増加の要因ともなっている。3～4月は歓送迎会のシーズンであり、酒の需要も伸びると期待している。 ○県内当業界について 3月19日に今季の新酒（吟醸酒）の品質を評価する研究会を開催した。蔵元では、本研究会で評価の高かった酒を全国新酒鑑評会に出品している。研究会当日は、15蔵から48点の新酒が出品され、13名の外部評価員により利き酒が行われた。今年の新酒は、昨年秋に収穫した原料米の品質が悪く、杜氏にとって難しい醸造を強いられた。その結果、特別に悪い品質の酒はなかったが、良い酒も少ないとの厳しい講評であった。鑑評会用の酒の品質がいまひとつであったことから、今後、市販酒としての酒の品質を調整していくことに注力して売上増強を図っていく。
	納豆	土産品業界的には、梅まつりの特需時期ではあったが、今年は温暖の影響で梅の開花が早く、2月後半の梅まつりの出足は良かったものの、その分、3月は早仕舞いとなることが懸念され、全体的な売上高の減少が心配されていた。しかし、3月中旬にかけてしばしば気温が低下したせいか、開花状態が長期間維持され、前年並みの売上高となった。 また、業界全体の基本的な景況感については、決して悪いわけではなく、むしろ安定的であり、不安の声は聞こえてこない。例えば、新型コロナウイルス感染症に関連する問題も、将来的な不可視性は否定できないものの、現時点では、既にポストコロナという同感染症との共存という形ではありながらも、影響を意識しない形での、いうなれば受容的脱コロナへと進展しているかの感がある。 また、ウクライナ侵攻以降、棄損されてきたグローバルサプライチェーンも新たなサプライチェーンの構築等で何とかしのいでいる状況である。更には、円高等の影響も商品の値上げ等で対応できている。
	菓子	昨年11月に商品の値上げを実施した分、売上高が増加したが、販売数量はやや減少している。
	漬物	大きな景況の変化はないが、原材料の高騰や資材等の値上げが今後も進むと利益に大きく影響する。
繊維工業	東北地区外衣シャツ	縫製作業員が高齢化しており、募集しても若手の作業員が集まらず、作業員の確保に苦慮している。
木材・木材製品	製材	・国内材製品は荷動きが悪く、製品価格も杉、桧とも値を下げた。 ・外材も荷動きが悪く、価格は保合で推移した。 ・原木の価格については、保合で推移した。
	東北地区プレカット	月間加工数は目標の40%達成。4月の加工予定は中旬に集中している。木材価格は、若干安値で安定している。
	県央地区プレカット	見積物件は少しずつ増えているが、加工に入るまでに時間がかかる物件もあり、工場稼働は停滞状況が続いている。
紙・紙加工品	段ボール	売上高は、前年同月比で大手企業が7～13%減少、中小企業は10～20%減少し、コロナ禍の時期よりかなり悪い数字となった。3月は企業の決算時期とも重なり、大手企業では在庫がかなりたまっているようで、3月は急遽稼働日数を減らしたところも数社あり、物の売れ行きが悪いように感じる。物価高騰の影響で消費がかなり落ち込んでいるように感じられ、この状況は4月以降もしばらく続くことが懸念される。
印刷	総合印刷	紙をはじめとする資材関係の値上がりによるコスト上昇及びウェブ・データ化による紙への印刷需要の減少により、収益・資金繰りを圧迫している。労務費を抑えるべく必要最小限の人員での経営が続いている。
窯業・土石製品	陶磁器	市内の販売店の観光入込客数を見てみると、休日は多く感じるが、平日は少ない。春らしく暖かくなればもっと人の流れが多くなると思われる。 陶炎祭まで1ヶ月を切っているため、しっかり準備を進めてお客様を受け入れる体制を作っていくたい。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	鉄鋼・金属	鉄鋼 売上高は、前年同月比90%で受注量が減少している。取引先の業種では、建設関連・車両関連部品・半導体関連部品等の受注量が減少した。 電気代・材料費・金属・燃料代を含む石油製品等すべての資材が高値のままで推移している。
	一般機器	生産用機械 対象7組合員（製造会社）の売上高は前年同月比で2社増加、5社減少であった。 団地全体の売上高は、主要取引先からの受注が減少したことを主要因として前年同月比で減収となったが、前月比ではほぼ同数の売上高となった。組合員の従業員数は、正社員数は変わらないが派遣社員数の減少により前年同月比で減少となった。
	輸送用機器	県北地区自動車部品 販売価格、取引条件、収益状況は不変と回答したが、総じて悪化傾向に近い。 売上高が増加傾向にあるため、しのいでいる状況である。
非製造業	卸売業	生鮮魚介 精算所取扱高は前年同月比105.9%。昨年から続いている商品単価の上昇の影響で、今年に入ってから取扱高は前年を上回っているが、年度末という事もあり、取り扱い数量は減少傾向であった。 4月からは新年度ということと、各種イベント等も開催されるので、今後の荷動きに期待している。
		米麦 米の民間在庫量の解消が進み、外食や中食向けの需要が回復傾向にあること等も重なって、米価が上昇しているものの、厳しい状況が続いている。
		袋セメント 袋セメントの3月出荷数量は、29千袋、前年同月比83.1%の実績。 当組合で扱うメーカー品の袋セメント(ブランド品)の値上げ後、競合する量販店の袋セメントの価格が依然低価格で推移していることと、天候不順日が多かったこと等の要因により、前年同月比17%程度の減少となった。
	小売業	県北地区共同店舗 売上高は前年同月比107%、客数は同112.7%であったが、前年同月の売上高を確保できた店舗は36.3%となった。3月で閉店した店舗が売上高、客数ともに結果を牽引した。
		県南地区共同店舗 ショッピングセンター全体の売上高は増加した。大型店舗の売上高は増加したが、組合員店舗は休日を設けたことが原因となり不振であった。
		家電 本組合では、4月から活動を休止していた青年部（若手グループ）が活動内容を改めてメンバーを募り、再発足する。今後、この若手グループが中心となり、商売に役立つ内容を論じ合えることを期待する。 (例) お客様に対してなにをすべきか業務の棚卸を行い、店の強みをアピールし新規顧客を見つける方法を話し合う等。
		燃料 国の燃料油価格激変緩和策により、燃料油価格は抑えられているものの、レギュラーガソリンの価格は170円/Lを超えており、前年同月に比べ約7円/L高くなっている。仕入価格が少しずつ上昇しているが廉売を行う業者がいることや、一般消費者の価格に対する買い控え等により、小売価格に反映しづらい状況である。しかし、電気代や人件費を上げるためには小売価格を上げるしかなく、厳しい状況が続いている。
		中古自動車 販売価格は前年同月比で98.2%、販売台数が同90.8%と共に減少したため、売上高は同89.2%と1割強の落ち込みとなった。一部の新車メーカーが製造停止となっている影響で中古車の流通量は減少傾向にある。 また、円安の追い風を受けて中古車の輸出も活発になっており、国内中古車販売店の仕入れ環境は厳しさを増している。さらに、物価高も自動車の購入には大きな負担となっており、今後も厳しい環境が続くと予想される。
		食品
野菜・果実 3月は、野菜果物合計で前年同月比102.1%の取扱高となった。野菜に関しては、上旬から中旬にかけては、前月に引き続き安値で推移していたが、中旬以降はそれまで前進出荷が続いていた反動や天候不良、気温の低下の影響により出荷減、単価高へと転じた。学校給食を主にする組合員は、入札により予め値段が決まっているため、急な値上がりにより打撃を受けた。		
商店街	水戸 引き続き、人手不足、原材料高騰や水道光熱費の上昇が続いている。	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
非 製 造 業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の前年同月比は、普通車・軽自動車ともに約1割近い減少となった。	
	サービス業	旅館、ホテル	地域のイベント(梅まつり・百段雑祭り・スポーツ大会等)の開催や歓送迎会宴会が増え、更には春休みの期間と重なり、集客は昨年を上回る状況にある。 集客地域については、県内及び関東の地域が多くを占め、台湾や香港等の東南アジアからのインバウンドが堅調な地域があり、特に台湾からのインバウンドが堅調である。 一方、人手不足により的確なサービス提供に支障をきたしかねない状況のほか、諸物価、人件費の高騰により収益が圧迫され経営状況は依然として厳しい状況にある。
	建設業	総合	年度末となり例年だと各社工事完成に向かい休業無しの追い込み工事となるのだが、工事発注の平準化と柔軟な年度繰越工事の増加で忙しさもだいぶ緩和された。
		電機工事	材料の値上げや電線の入荷が遅れる等、先行きが不安。
		県北地区管工事	金属部品の一部値上げの通告を受けた。値上げの時期は6月頃を検討中、上げ幅は5～8%位である。
	運輸業	軽貨物自動車	当組合の組合員数は102名、車両台数は131台で前月と比較して1名減少、1台減少である。 運送売上高については前年同月比92.7%であった。全国連合会での組合員数は6,206名、車両台数は7,390台で前月と比較して29名減少、29台減少である。
		一般貨物自動車	主要顧客の発送物量については、一部製品を除いて減少している製品が多いが、売上高は輸送運賃の値上げにより少し増加した。燃料価格については、高値ほほ横ばいで推移しており、収益は厳しい状況が継続している。募集しても運転手が集まらず、人員確保が困難となっている。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食パン	学校給食におけるパン給食回数増要望
	納豆	現在の業況に関して奇妙な安定感とは言ったものの、ポストコロナ、脱コロナへの転換の不確実性と合わせて、業界全体の大きな分岐点にあると考えられるので、将来的な不安がない訳ではない。 先般日銀がマイナス金利の解除を発表したが、このこと自体は長年のデフレーションからの脱却への期待値が高いものの、一方において現時点ではコストプッシュインフレーションの傾向が強く、今すぐ大きく利上げが進むわけではないとしても、政府・日銀へは経済政策、金利政策共に、デマンドプルインフレーションへの誘導を期待したい。
小売業	燃料	・揮発油に課税している二重課税の廃止 ・燃料油価格激変緩和策の継続と出口戦略の明確化 ・物価上昇、円高への対策(輸入品)、コストアップの受け入れ対策
建設業	総合	働き方改革法施行の猶予期間が終了今月で終了し正式に施行される。建設業の人材不足解消に伴う立法であるが、人材不足を補う目的の法が人材不足をさらに悪化させるという矛盾がある。人によっては仕事が楽しく休むよりも仕事したいという人もいる。現状より収入が必要な人もいる。そのような前向きな人の救済措置を図られたい。

月次景況調査 3月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	3月	2月	前月比	3月	2月	前月比	3月	2月	前月比
景 況	▲ 32.7	▲ 26.5	▲ 6.2	▲ 30.8	▲ 30.8	0.0	▲ 34.8	▲ 21.7	▲ 13.1
売 上 高	▲ 16.3	▲ 6.1	▲ 10.2	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 3.8	▲ 4.3	13.0	▲ 17.3
収 益 状 況	▲ 24.5	▲ 24.5	0.0	▲ 30.8	▲ 30.8	0.0	▲ 17.4	▲ 17.4	0.0
販 売 価 格	24.5	20.4	4.1	3.8	15.4	▲ 11.6	47.8	26.1	21.7
取 引 条 件	▲ 14.3	▲ 8.2	▲ 6.1	▲ 11.5	▲ 11.5	0.0	▲ 17.4	▲ 4.3	▲ 13.1

中小企業月次景況調査(令和6年3月)DI値(前年同月比)

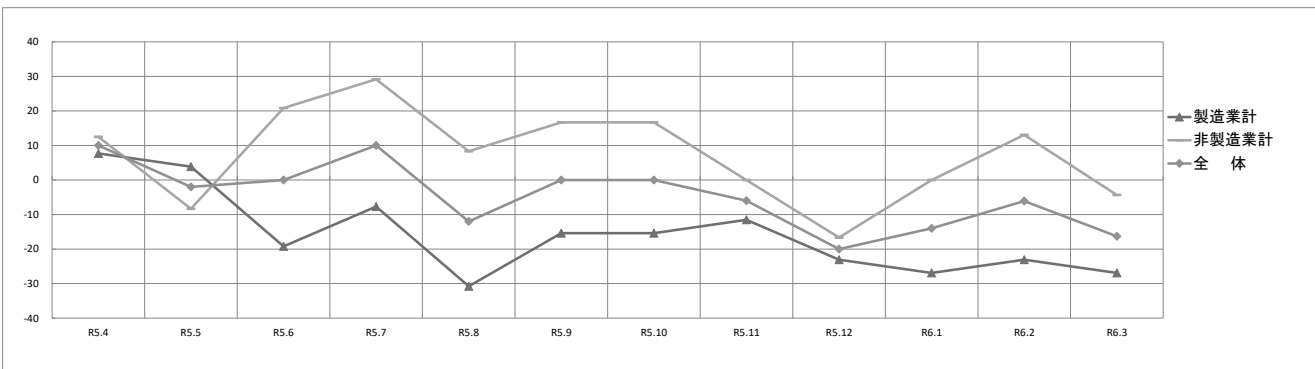
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内 訳)			DI	(内 訳)			DI	(内 訳)			DI	(内 訳)			DI	(内 訳)			DI	(内 訳)			DI	(内 訳)			DI	(内 訳)																
		増加	不変	減少		業界数	増加	不変		減少	業界数	上昇		不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化		業界数	好転	不変		悪化	業界数	上昇		不変	悪化	業界数	増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数						
製造業	食料品	16.7	2	3	1	6	0.0	1	4	1	6	33.3	2	4	0	6	16.7	1	5	0	6	16.7	1	5	0	6	△ 16.7	0	5	1	6	16.7	1	5	0	6	0.0	0	6	0	6	0.0	0	6	0	6
	繊維工業	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3
	木材・木製品	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	化学・ゴム	△ 100.0	0	0	1	1	100.0	1	0	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	窯業・土石製品	△ 40.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 60.0	0	2	3	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 40.0	0	3	2	5
	鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	一般機器	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1
	電気機器	100.0	1	0	0	1	100.0	1	0	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	0.0	1	1	1	3	0.0	1	1	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	1	1	1	3	0.0	1	1	1	3	△ 33.3	0	2	1	3
製造業計	△ 26.9	4	11	11	26	0.0	5	16	5	26	3.8	4	19	3	26	△ 11.5	1	21	4	26	△ 30.8	1	16	9	26	△ 19.2	0	21	5	26	△ 23.1	2	16	8	26	△ 15.4	1	20	5	26	△ 30.8	0	18	8	26	
非製造業	卸売業	66.7	2	1	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	100.0	3	0	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	33.3	1	2	0	3	X	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3				
	小売業 (商店街含む)	△ 18.2	3	3	5	11	△ 9.1	0	10	1	11	45.5	6	4	1	11	△ 36.4	0	7	4	11	△ 36.4	0	7	4	11	△ 18.2	0	9	2	11		△ 18.2	0	9	2	11	△ 45.5	1	4	6	11				
	サービス業	0.0	1	0	1	2	X	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0		2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2			
	建設業	△ 20.0	1	2	2	5		40.0	2	3	0	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0		5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5			
	運輸業	0.0	1	0	1	2		50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0		2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2			
	非製造業計	△ 4.3	8	6	9	23		△ 14.3	0	12	2	14	47.8	12	10	1	23	△ 17.4	0	19	4	23	△ 17.4	1	17	5	23	△ 4.3	1	20	2		23	△ 17.4	0	19	4	23	△ 34.8	1	13	9	23			
全 体	△ 16.3	12	17	20	49	△ 5.0	5	28	7	40	24.5	16	29	4	49	△ 14.3	1	40	8	49	△ 24.5	2	33	14	49	△ 12.2	1	41	7	49	△ 23.1	2	16	8	26	△ 16.3	1	39	9	49	△ 32.7	1	31	17	49	

D I 値推移表 (R5. 4月 ~ R6. 3月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R5. 4	R5. 5	R5. 6	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2	R6. 3
食料品製造業	33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 16.7	33.3	16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	16.7
製造業(食料品製造業以外)	0.0	15.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 30.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 40.0
製造業計	7.7	3.8	▲ 19.2	▲ 7.7	▲ 30.8	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 11.5	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 26.9
卸売業	▲ 66.7	0.0	66.7	66.7	66.7	0.0	33.3	33.3	▲ 66.7	33.3	100.0	66.7
小売業(商店街含む)	16.7	▲ 25.0	8.3	16.7	16.7	33.3	0.0	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 18.2	▲ 18.2
サービス業	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0
建設業	40.0	0.0	40.0	20.0	▲ 40.0	40.0	40.0	▲ 20.0	0.0	40.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	50.0	50.0	0.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	100.0	0.0
非製造業計	12.5	▲ 8.3	20.8	29.2	8.3	16.7	16.7	0.0	▲ 16.7	0.0	13.0	▲ 4.3
全体	10.0	▲ 2.0	0.0	10.0	▲ 12.0	0.0	0.0	▲ 6.0	▲ 20.0	▲ 14.0	▲ 6.1	▲ 16.3

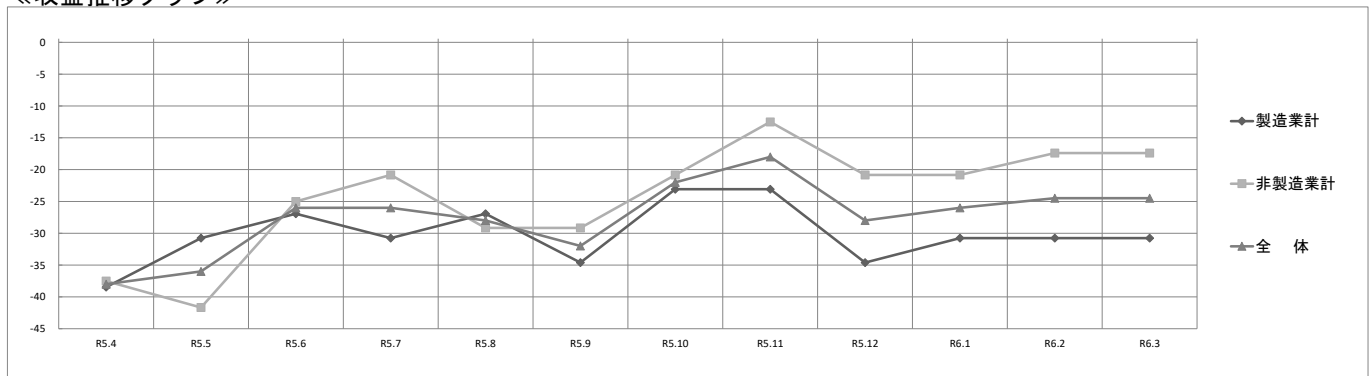
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R5. 4	R5. 5	R5. 6	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2	R6. 3
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 45.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 55.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 45.0
製造業計	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 30.8
卸売業	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	0.0	▲ 66.7	▲ 33.3	0.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 41.7	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 45.5	▲ 36.4
サービス業	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0
建設業	0.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 37.5	▲ 41.7	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 12.5	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 17.4	▲ 17.4
全体	▲ 38.0	▲ 36.0	▲ 26.0	▲ 26.0	▲ 28.0	▲ 32.0	▲ 22.0	▲ 18.0	▲ 28.0	▲ 26.0	▲ 24.5	▲ 24.5

《収益推移グラフ》

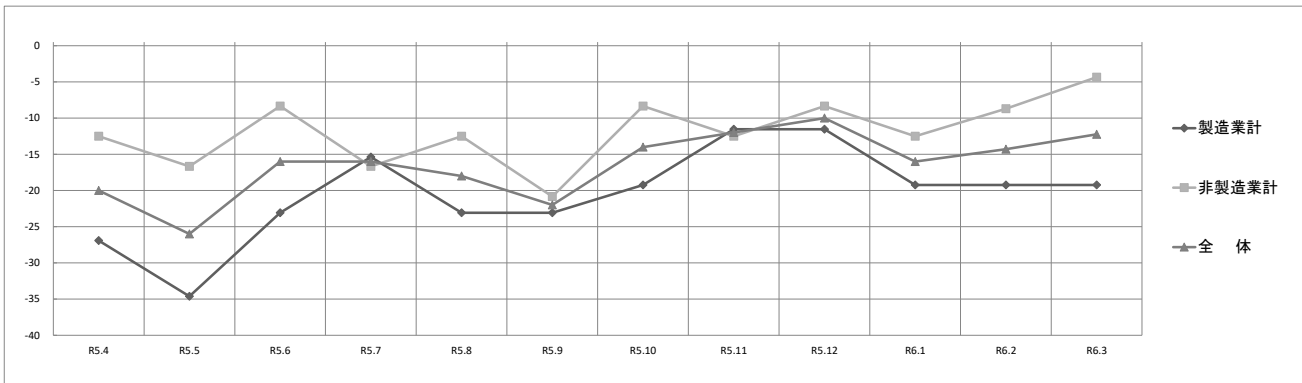


D I 値推移表 (R5. 4月 ~ R6. 3月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R5. 4	R5. 5	R5. 6	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2	R6. 3
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 50.0	0.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 20.0
製造業計	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 11.5	▲ 11.5	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 19.2
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
小売業(商店街含む)	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 18.2	▲ 18.2
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 8.7	▲ 4.3
全体	▲ 20.0	▲ 26.0	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 18.0	▲ 22.0	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 10.0	▲ 16.0	▲ 14.3	▲ 12.2

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R5. 4	R5. 5	R5. 6	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2	R6. 3
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 66.7	0.0	16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 35.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 35.0	▲ 15.0	▲ 35.0	▲ 40.0
製造業計	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 34.6	▲ 38.5	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 30.8
卸売業	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 66.7	0.0	0.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 25.0	8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 27.3	▲ 45.5
サービス業	0.0	50.0	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0
建設業	0.0	20.0	0.0	0.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 12.5	4.2	▲ 20.8	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 4.2	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 21.7	▲ 34.8
全体	▲ 22.0	▲ 18.0	▲ 24.0	▲ 18.0	▲ 30.0	▲ 22.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 22.0	▲ 12.0	▲ 26.5	▲ 32.7

《景況推移グラフ》

